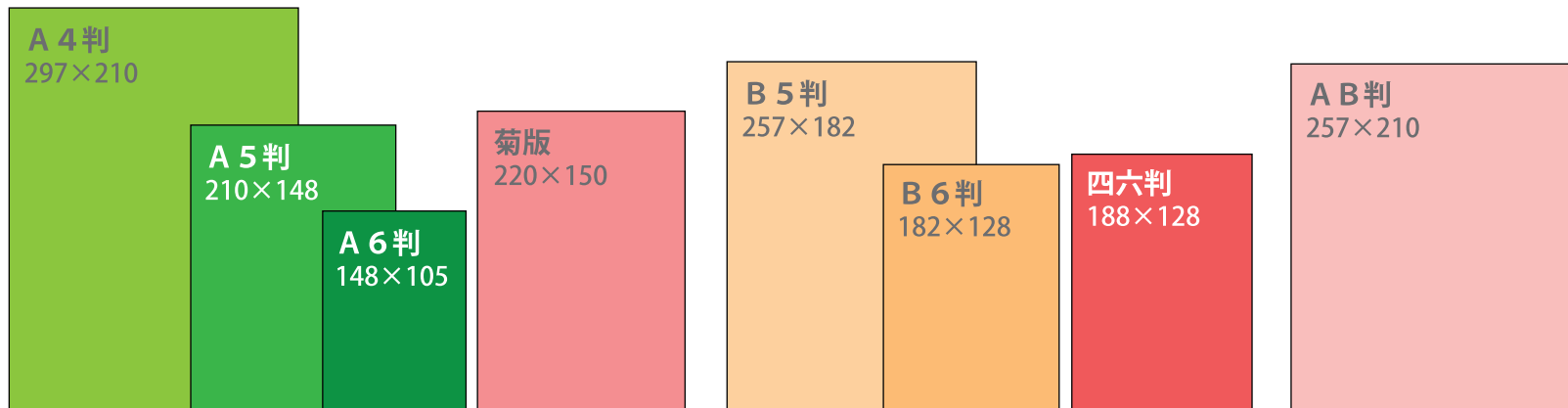


# 本と印刷物の体裁

BOOK SIZE

## 本の判型（サイズ）

単行本・文庫本タイプから化粧箱入り的高级仕様まで、ご希望やご予算に応じた書籍をご提案いたします。  
下記の基本サイズ以外にも、著者の意図や内容にあった体裁を相談して決定します。



## 【A判サイズ】

判 型	サイズ	オススの書籍
A 4判	297×210mm	画集、絵本、記念誌・社史、楽譜、雑誌
A 5判	210×148mm	単行本、ビジネス書、専門書、写真集
A 6判	148×105mm	文庫本、豆本
菊 判	220×150mm	A5判よりひと回り大きいサイズ

## 【B判サイズ】

判 型	サイズ	オススの書籍
B 5判	257×182mm	記念誌・社史、写真集、雑誌、マニュアル集などの専門書
B 6判	182×128mm	一般書籍、単行本(自分史、エッセイ集など)
四六判	188×128mm	B6判よりひと回り大きい日本独特のサイズ 一般書籍、単行本(自分史、エッセイ集など) ※市販単行本ではこのサイズがよく利用されています。

## 【その他のサイズ】

判 型	サイズ	オススの書籍
A B判	257×210mm	写真集、画集、絵本

## 製 本

主に書籍のつくりは、上製本(ハードカバー)と並製本(ソフトカバー)の2種に分けられます

### 【上製本】(ハードカバー)

本文(中身)より3mmほど大きなボール紙を表紙に使い、ハードカバーとも呼ばれます。硬質な表紙で保護されるため並製本よりコストが高くなりますが、耐久性と高級感があります。表紙材料には布、ビニール、紙などを使用し箔押しなどの加工を施すことができます。

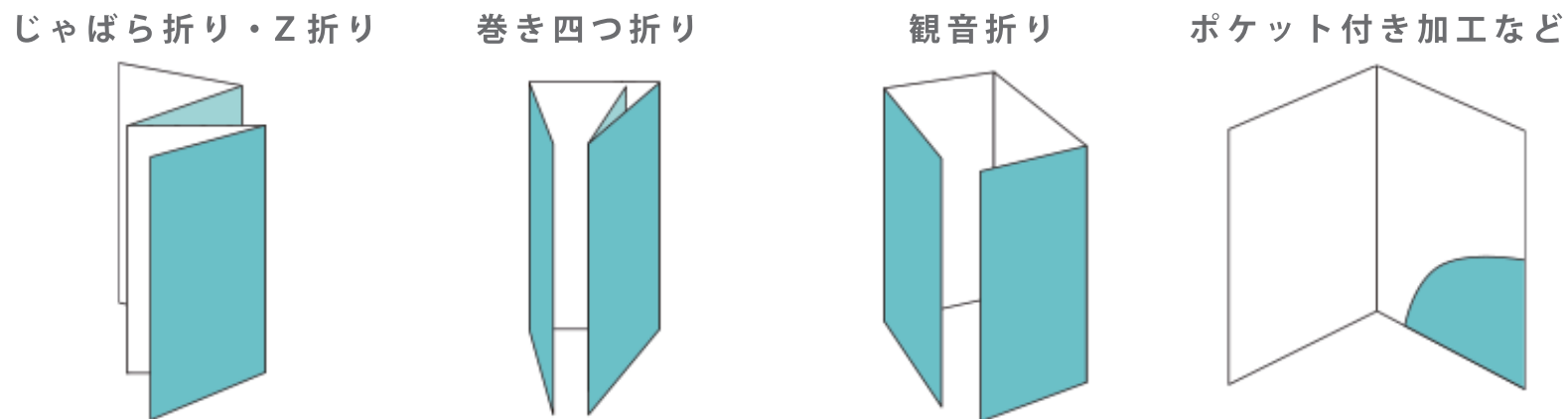
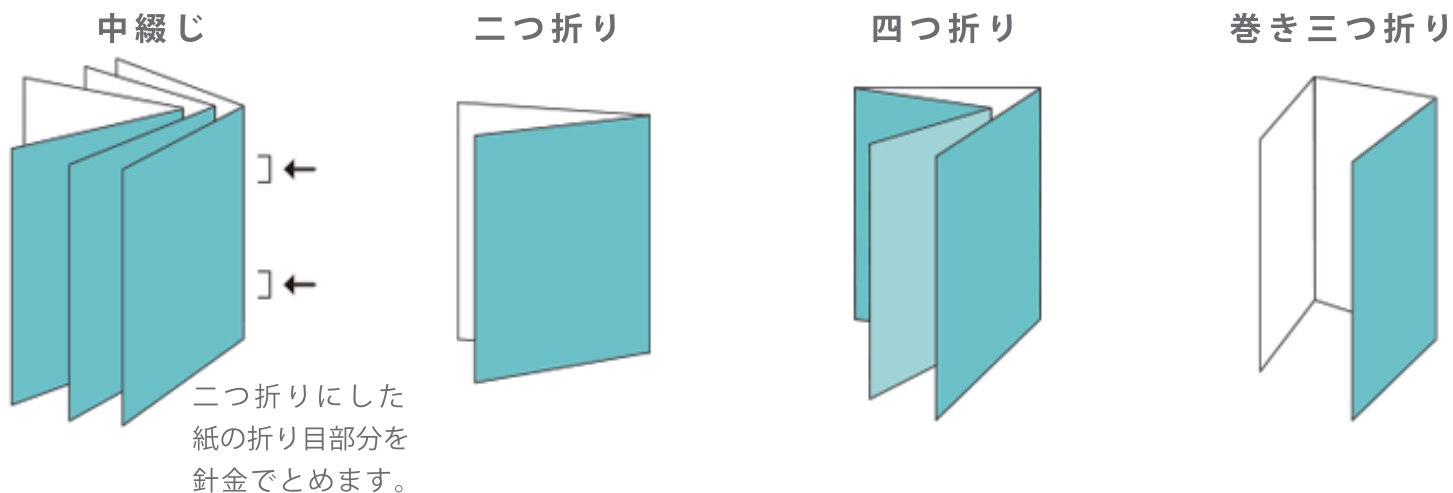
本文は主に「糸かがり」で綴じられます。本文を糸でかがることによって、接着剤による製本よりも、開きに強くページが抜け落ちない丈夫な本になります。

### 【並製本】(ソフトカバー)

通常は本文で使用している紙よりも厚い紙を表紙とします。表紙と中身のサイズは同じ大きさに仕上がります。ハードカバーより軽装で、持ち運びにも便利です。書籍の中では一番多い仕様となっています。

## 印刷物の主なバリエーション

チラシ・リーフレット類の形態は、豊富なバリエーションの中からお選びいただけます。下記以外にもアイデア次第でさまざまな折り加工が可能ですので、企画・デザインの段階から最終的な印刷物のイメージをご相談いただけます。パンフレットや会社案内などには、中綴じ方式もおおすすめです。



お問い合わせは ☎098-866-0741